

“FLOWERS” - Another Episode -

『 童話の中の少女たち 』

文：志水はつみ／絵：スギナミキ

——世知辛い世の中よね、と呟くアミティエへ。
“世知辛くなきや人の世じゃねえのさ”と八重垣えりかは言つた。

夏月の強い陽射しに照られた皿から仔牛のかツレツを丁寧に切り分け、恨みがましく見詰めるアミティエの前で頬張った。切れ長の瞳に凝つと注視されながらもペースを乱さない。早く自分のサラダを食べろよとナイフでアミティエの皿を指す。

今日こそは同じものを頬もうと思っていたのに、と気落ちし呟くアミティエ。
八重垣えりかは“売り切れとはご愁傷さま”と言い、猫のように笑う。

そして、アミティエがカツレツの載った皿を見、呟いていたのを耳聴く聞いていたのか、

“もう半分しか残ってないと思うやつもいれば、まだ半分も残っていると考えるやつもいる”

そういう、フォークに刺したカツレツをアミティエの口元へと差し出した。
端正な創り物のような顔つきのアミティエは戸惑うも——
頂くわ、と一言告げ、カツレツを頬張る。

生真面目に咀嚼した後、“パンケーキと同じくらい美味しいわ——と告げた。

“食い物を食いで喻えるなよ”と笑う八重垣えりかへ、アミティエは微かに笑むと、
切り分けてあつたカツレツにレモンを搾り、フォークで刺すと八重垣えりかの口元へ差し出す。

アミティエの行動に驚き、薄くも朱色づく唇を震わせる。

戸惑うも生真面目な顔つきに頬を少しばかり染め、わななかせるように薄い唇を開いた。

親鳥がひな鳥へと餌を与えるような情景。

鳶色の瞳には扇情的に映った。頬を染めながらも怒った風に咀嚼する八重垣えりかへ問う。
“味なんてするわけないだろうがよ”と呟く八重垣えりかへアミティエは艶然と微笑んだ。

陽射しの所為だけではない顔を赤らめた八重垣えりかは“残り食べていいぞ”と告げると、アミティエを置いたままダイニングルームを後にした。

私とグラスに映った考崎千鳥だけが残った。



好きな人の為に、何かしてあげたいと思ったことはありますか――

心に傷を持った少女、白羽蘇芳。

出逢いの季節、"春"に自分を受け入れてくれる友、そして恋人を持つことができた。が、互いを赦しあった恋人、匂坂マユリは理由を言わぬまま学院を去ってしまう。

喪失感を悟られぬように振る舞う白羽蘇芳に、書痴仲間である八重垣えりかは心を痛めていた。癒やす方法はないものかと考えていた折り初夏を迎えた学院に、一人の少女が転入する。

少女の名は――考崎千鳥。

最悪の邂逅を果たす八重垣えりかへと、少女は言う。

"貴女は卑怯者"だと。

夏月を迎えた学院生活の中で起こる奇妙な事件。

八重垣えりかはアミティ工となる考崎千鳥とともに学院の謎に挑む――。

オープニングテーマ曲
「夏空の光」

作詞：高橋麗子
作曲：MANYO
歌：鈴湯

エンディングテーマ曲
「chaleur」

作詞：高橋麗子
作曲：MANYO
歌：霜月はるか

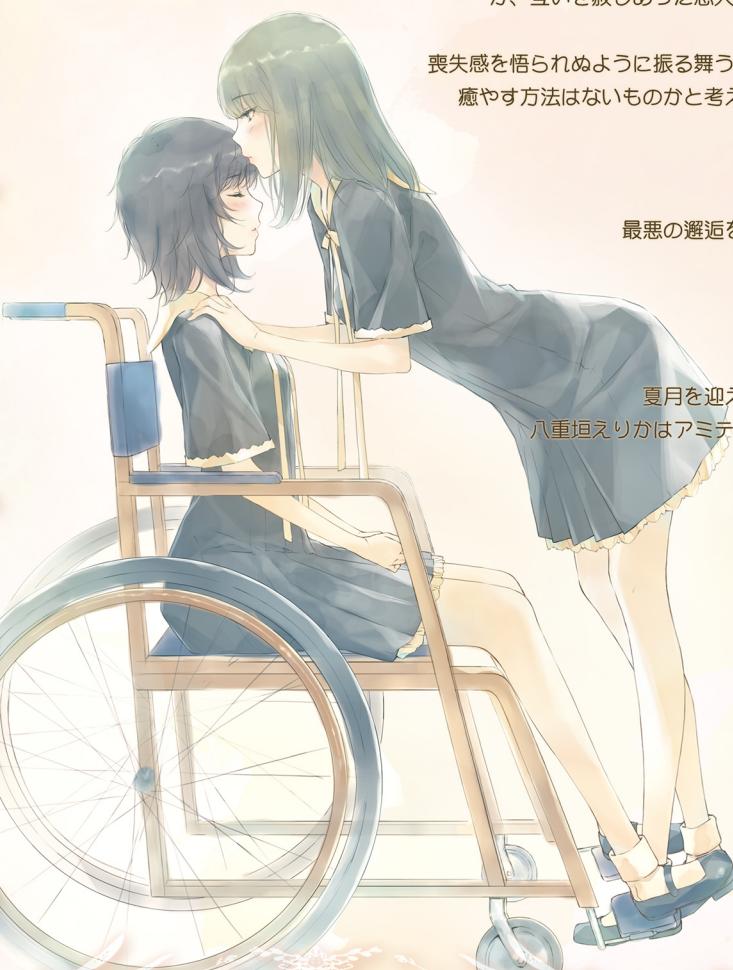
制作スタッフ 企画：Innocent Grey

原画：スギナミキ

シナリオ：志水はつみ

ムービー制作：癸乙夜(Mju:Z)

音楽制作：MANYO



春篇『FLOWERS -Le volume sur printemps-』のあらすじ

心に傷を持つ少女・白羽蘇芳。とある事情から家族以外の者と触れ合ったことがない彼女は、擬似的に友人を作らせる"アミティ工制度"に興味を持ち、聖アングレカム学院に入学。アミティ工となつた匂坂マユリ、花菱立花と共に、ぎこちないながらも学院生活を送っていく。



ところが、クラスメイトの失踪や先輩への謎の襲撃など様々な事件が勃発。蘇芳は見事な推理でそれらを解決へと導き、友人たちやアミティ工の信頼を勝ち取っていくのだった。やがて蘇芳はマユリに恋心を抱き、想いを重ねるのだが、その恋は意外な結末を迎えることに……。



■ 製品概要

タイトル FLOWERS -Le volume sur été-
ブランド Innocent Grey (インセントグレイ)
ジャンル 百合系ミステリADV
価格 初回限定版 4,800円[税別] (DVD-ROM 1枚、Audio CD 1枚)
発売日 2015年4月17日(金)
初回限定版 ①特製パッケージ仕様 ②ドラマCD「紅千鳥のハナコトバ」同梱
③ED曲「chaleur」考崎千鳥バージョン収録(cv.洲崎綾)

■ 動作環境

対応OS 日本語版Microsoft Windows 8/7 (SP1以降)
CPU 必須：PentiumIV 1.4GHz / 推奨：PentiumIV 2.0GHz以上
メモリ 必須：512MB / 推奨：1024MB以上
VRAM 必須：128MB / 推奨：256MB以上
必要解像度 1280×720、32bitカラー
※ゲームウィンドウは1280×720の画面です。
サウンド Direct Soundに対応したPCM音源(要DirectX 9.0c以上)

新たなアミティエとなつたふたりの少女



タカサキ チドリ
考崎 千鳥

CV：洲崎綾

えりかのアミティエとなる転入生。感情を顔に出すことなく、気になったことは素直に口に出してしまうため、時にいらぬ騒動を起こすことも。転入してくる前は劇を中心とした芸能活動を行っており、バレエや歌唱においては学院でも屈指の実力を持つ。

紅千鳥（バラ科）

花言葉：「何て愛らしい」、「気品」「高潔」、「忠義」



ヤエガキ
八重垣 えりか

CV：佐倉綾音

人をからかうのが好きな人間嫌いの変わり者。ひとりでいることを好み、今まで寮でも一人部屋だったが、千鳥が来てからは彼女と生活を共することに。表には出さないが、大切なアミティエが学院を辞め心を痛めている蘇芳のことを気にかけている。

エリカ（ツツジ科）

花言葉：「孤独」、「謙遜」、「休息」、「心地良い言葉」、「博愛」





ササキ 沙沙貴 林檎

CV: 長妻樹里

沙沙貴姉妹の妹で、おっとりとした読書好きの女の子。同じ本好きの蘇芳やえりかとは積極的に交流していたが、春の一件以来、気まずさを感じている。

林檎 (バラ科)

花言葉:「名声」、「選択」、「評判」、「選ばれた恋」



ササキ 沙沙貴 莓

CV: 長妻樹里

相変わらずイタズラが絶えない、好奇心旺盛なトラブルメーカー。蘇芳たちを巻き込んだ事件を引き起こして以来、多少は控えめにならしが……。

莓 (バラ科)

花言葉:「尊敬と愛」



シラハネ 白羽 蘇芳

CV: 名塚佳織

無口で小心者で、他人と関わることが苦手な少女。春に起きた事件を通して前に踏み出しができたのだが、心を通わせたマユリが退学したことで新たな傷を負う。

花蘇芳 (マメ科)

花言葉:「高貴」、「質素」、「不信感」、「裏切り」、「疑惑」、「豊かな生涯」、「自覚」

ハナビシ 花菱 立花

CV: 明島ゆうり

生真面目で面倒見のいいクラス委員長。アミティエだった匂坂マユリが学院を去り、必死に傷を隠そうとする蘇芳のことを心配しており、何くれなく世話を焼いている。

ハナビシソウ (ケシ科)

花言葉:「私の希望を叶えて下さい」、「私を拒絶しないで」

コミカド 小御門 ネリネ

CV: 西口有香

ニカイアの会の副会長で、常に誰かと触れ合ってみたい寂しがり屋。その美しい見た目からは想像できないが怪談と食べ歩きが趣味で、特にスイーツに関しては「底なし」とか。

ネリネ (ヒガンバナ科)

花言葉:「華やか」、「また会う日を楽しみに」、「幸せな思い出」、「輝き」、「忍耐」、「箱入り娘」



ヤツシロ 八代 讓葉

CV: 瑞沢渓

ニカイアの会の会長。エキセントリックで芝居がかった言動が目立つ変わり者だが、常に周りに気を配っており、ネリネと共に生徒たちから絶大な人気を誇っている。

ユズリハ (ユズリハ科)

花言葉:「若返り」、「世代交代」、「譲渡」



ダリア=バスキア

CV: 高城みつ

聖アングレカム学院の教師兼シスター。穏やかで包容力のある姉のような存在で、生徒たちから慕われている。バレエの授業も彼女の担当。

ダリア (キク科)

花言葉:「移り気」、「華麗」、「優雅」、「威厳」、「不安定」

